



「家読（うちどく）」とは、学校の「朝の10分間読書（朝読(あさどく)）」の家庭版として考えられており、「家族ふれあい読書」を意味しています。

家読のやり方は、『家族で本を読んで、感想を共有する』という事だけです。難しいルールはありません。

本をきっかけに会話が広がれば、きっとこれまでの日常とは一味違った豊かな時間を過ごせると思います。

ぜひご家族で、楽しく本を読む方法を見つけてみてください。

笑顔を共有できる「ユーモア絵本」や、思わずお腹がすいちゃう「おいしそう！な絵本」を紹介します♪
本がたくさんあって、何を読めばいいのか迷った時の参考にしてみてください。

「笑顔になれる！」「ユーモア絵本」

『みみずのオッサン』



長 新太/さく、童心社、E/ミ ◎5歳～小学校低学年におすすめ

これは「オッサン」という、みみずのお話。ある日、散歩に出かけると、町中がヌルヌルベトベトベタベタになって、動かなくなってしまいました。そんなとき、オッサンが取った行動とは。そして、町は元に戻ったのでしょうか・・・？



『どうする どうする あなのなか』 きむら ゆういち/文、高畠 純/絵、福音館書店、E/ド ◎4歳～おすすめ

『わにさんどきっ はいしゃさんどきっ』 五味 太郎/作絵、偕成社、E/ワ ◎5歳～おすすめ

『いいから いいから 1～4』 長谷川 義史/作、絵本館、E/イ ◎3～4歳におすすめ

「わたしも食べたい！」「おいしそう」な本

『おなべ おなべ にえたかな？』



こいで やすこ/さく、福音館書店、E/オ ◎3歳～小学校低学年におすすめ

気持ちのいい春の日。おばあちゃんに、お鍋の番を頼まれたきつねの「きっこ」とりすたち。おいしくできてるか気になって、何回も何回も味見をしてしまいました。するとお鍋の中はからっぽになってしまって、さあ、大変！！



『ぎょうれつのできるパンやさん』 ふくざわ ゆみこ/さく、教育画劇、E/ギ ◎4歳～小学校低学年におすすめ

『ひみつのカレーライス』 井上 荒野/作、田中 清代/絵、アリス館、E/ヒ ◎小学校低学年～おすすめ

『おいもさんがね・・・』 とよた かずひこ/さく、童心社、E/オ ◎幼児におすすめ